

IV. 各種機能詳細

4. 警報機能

4 - 1) エラーメッセージ

MP S type II Series のエラーメッセージ一覧を示します。

エラー発生時はブザーが鳴動しエラー番号と実出力値を交互（1秒おき）に表示します。

複数同時発生のおきは順番に表示します。

エラー表示	内 容	異常処理	解除方法
Er01	未使用	—	—
Er02	未使用	—	—
Er03	電源電圧過大	出力停止	電源復帰
Er04	電源電圧低下	出力停止	電源復帰
Er05	欠相	出力停止	電源復帰
Er06	未使用	—	—
Er07	RS-485 通信異常	出力継続	[CLEAR] ボタン ON
Er08	未使用	—	—
Er09	温度異常	設定による	[CLEAR] ボタン ON
Er10	直流出力電流異常	設定による	[CLEAR] ボタン ON
Er11	直流出力電圧異常	設定による	[CLEAR] ボタン ON
Er12	出力過大異常	設定による	[CLEAR] ボタン ON
Er13	出力過小異常	設定による	[CLEAR] ボタン ON
Er14	未使用	—	—
Er15	EEPROM異常	—	—
Er16	CC-Link 通信異常	出力継続	通信復帰

4 - 2) 入力AC電源電圧異常警報 (Er03~05)

◇内容

入力電源電圧を監視します。入力電源電圧異常を検出すると直流出力を OFF にし、回路を保護します。電源電圧の過大 (Er03)、低下 (Er04)、三相入力欠相時 (Er05) を検出します。

◇監視

直流出力 ON/OFF の状態に関わらず、常に監視を行います。

◇警報処理

電源電圧異常を検出すると直流出力を OFF にし、エラー番号を下段数値表示器に表示しブザーを鳴動させます。入力電源電圧が正常な状態に復帰するとエラー表示は消え、ブザーは止まります。異常発生前に直流出力が ON の場合、パラメータ 32 番にて設定されている運転動作を行います。電源異常が取り除かれるまでは運転再開することができません。

#### IV. 各種機能詳細

##### 4 - 3) 温度異常警報 (Er09)

###### ◇内容

ファン停止などによる主回路部品の温度上昇をセンサにて検出します。この温度センサからの信号が ON の場合、温度異常として検出し直流出力を OFF します。

###### ◇監視

直流出力の ON/OFF の状態に関わらず、常に異常監視を行います。

###### ◇警報処理

温度異常を検出すると直流出力を OFF にし、エラー番号 (Er09) を下段数字表示部に表示し、ブザーを鳴動させます。温度異常が解消すると、出力はパラメータ 30 番の設定に従い動作します。自己保持時、温度異常が取り除かれていればエラー解除は [CLEAR] キーにて行えます。

##### 4 - 4) RS - 485通信異常警報 (Er07)

###### ◇内容

外部通信機器との通信異常を検出します。

###### ◇監視

電源の外部通信インターフェイスに通信機器が接続されている状態でNAK応答または無応答が3回連続して発生したとき、通信エラーとして警報を出します。

###### ◇警報処理

異常を検出するとエラー番号 (Er07) を下段数値表示部に表示しブザーを鳴動させます。異常検出時の運転状態を継続し、停止状態であった場合はエラー解除まで運転開始できません。

##### 4 - 5) 出力異常警報 (Er10, 11)

###### ◇内容

出力電圧、出力電流の異常を検出します (CC 制御時の電流異常 : Er10、CV 制御時の電圧異常 : Er11)。異常検出のレベル、時限、異常時の処理・運転はパラメータ 16~20 番で設定します。

###### ◇監視

出力が ON 時に異常監視を行います (ただし、ソフトスタート、ソフトストップ区間は除く)。また、PULSEモードではパルスH時のピーク値に対して、S.W.モードでは平均値に対してのみ監視を行います。

###### ◇警報処理

異常を検出するとエラー番号を下段数値表示部に表示しブザーを鳴動させます (異常接点出力および通信で異常信号を送信します)。異常検出後の運転状態はパラメータ 18 番で設定し、異常検出後の運転継続または停止を設定できます。停止の場合は出力の自動復帰はしませんので、運転を再開するには整流器を再び ON する必要があります。異常検出中に [CLEAR] キーを押すとエラー表示・接点出力は解除されますが、設定された時限で再び異常を検出します。

注) パラメータ 53 番で『2 : アナログ信号』を選択時は、出力異常検出の時限は『1~60sec』を選択して下さい。

#### IV. 各種機能詳細

##### 4 - 6) 出力過大過小異常警報 (Er12, 13)

###### ◇内容

出力電圧、出力電流の異常を検出します(CC制御時の電圧異常、CV制御時の電流異常)。  
異常検出のレベル、時限、異常時の処理・運転はパラメータ21~25番で設定します。

###### ◇監視

直流出力がON状態の時に異常監視を行います(ただし、ソフトスタート、ソフトストップ区間は除く)。PULSEモードではパルスH時のピーク値に対して、S.W.モードでは平均値に対してのみ監視を行います。

###### ◇警報処理

異常を検出するとエラー番号(過大:Er12)(過小:Er13)を下段数値表示部に表示しブザーを鳴動させます(異常接点出力および通信で異常信号を送信します)。異常検出後の運転状態はパラメータ25番で設定し、異常検出後の運転継続または停止を設定できます。停止の場合は出力の自動復帰はしませんので、運転を再開するには整流器を再びONする必要があります。異常検出中に[CLEAR]キーを押すとエラー表示・接点出力は解除されますが、設定された時限で再び異常を検出します。

注)パラメータ53番で『2:アナログ信号』を選択時は、出力過大・過小異常検出の時限は『1~60sec』を選択して下さい。

##### 4 - 7) EEPROM異常 (Er15)

###### ◇内容

整流器に搭載されているマイコンの異常を検出します。

###### ◇監視

EEPROMデータをチェックします。

###### ◇警報処理

異常を検出するとエラー番号(Er15)を下段数値表示部に表示しブザーを鳴動させます(異常接点出力および通信での異常信号はありません)。この異常を検出したら整流器の入力電源を落とし、弊社までお問い合わせ下さい。

##### 4 - 8) CC-Link通信異常 (Er16)

###### ◇内容

CC-Link通信異常を検出します。

###### ◇監視

インターフェイスボードの異常を検出します。

###### ◇警報処理

異常を検出するとエラー番号(Er16)を下段数値表示部に表示し、ブザーを鳴動させます(異常接点出力および通信での異常信号はありません)。通信が復帰するまで異常は解除されません。